第１６７回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成３０年４月１５日提出）

１．題　目：長崎大学新任教職員ガイダンス

２．日　時：平成 30 年 4 月 3 日（火）13:00～15:05

３．場　所：事務局３階 第２会議室

４．主　催：教務委員会
　企画・実施： 評価・FD 教育改善専門部会

５．対　象：平成 29 年 5 月以降に長崎大学に新たに赴任した教職員

６．長崎大学ＦＤに関する申合せ第２第１項への該当について【複数選択可】
　（該当するものに○を記入すること）
　［　○　］(1)　教員の教育活動に関するもの
　［　　］(2)　カリキュラムの改善に関するもの
　［　　］(3)　教育の組織的改善に関するもの
　［　　］(4)　入学者選抜方法の改善に関するもの
　［　　］(5)　その他教育改善及び入学者選抜の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）
　平成 29 年 5 月以降に長崎大学に新たに赴任した教職員に対し、長崎大学が目指す教育、研究等に関する事項について説明し、今後の教育・業務に役立てる。

８．プログラム構成［題目・担当講師］
【内容】

12:45～13:00	受　付（第 2 会議室）
13:00～13:05	開会の挨拶　　（大学教育イノベーションセンター）
13:05～13:35	「今日とは違う明日の長崎大学を創る」 河野　茂　学長
13:35～13:55	質疑応答
13:55～14:05	集合写真撮影
14:05～14:10	休憩
14:10～14:35	「長崎大学の危機管理―個人情報保護と情報セキュリティ―」 福永　博俊 理事（総務担当）

14:35～15:00　「長崎大学における教学マネジメント」
塚元　和弘　理事（教学担当）
15:00～15:05　閉会の挨拶　（大学教育イノベーションセンター）

【担当講師】
河野　茂　学長
福永　博弘　理事
塚元　和弘　理事

９．参加者：58　名
（内訳）

所　属	人　数
教育学部	6
経済学部	1
医学部	1
多文化社会学部	1
医歯薬総合研究科	12
原爆後障害医療研究所	4
水産・環境総合研究所	5
熱帯医学・グローバルヘルス研究所	1
熱帯・医学研究所	1
ダイバーシティ推進センター	1
戦略職員	1
非常勤講師	2
技術職員	9
事務職員	13
計	58

※別紙に参加者名簿を添付してください。

１０．実施したＦＤの成果等　※フィードバック締切　4月15 日
（１）参加者からの評価

Ⅱ．今回のプログラムについて、お気づきの点・ご意見・ご感想をご記入下さい。
・学長から大学経営の意図を伺えたことが良かった。
・学域の話は知っていましたが、３学域に分ける話は初めてだったので、そうなんだ

と思いました。
・とても興味深かったです。特に学長のプレゼンテーションは長崎大の戦略が分かりやすく、とても勉強になりました。
・具体例が少なく、長崎大学の実状がまだわからない段階での今回のガイダンスは、理解しにくい部分が多かったため、今回の様な内容は夏以降等、少し実状が見えた段階で行い、ガイダンスは、もう少し具体例をあげ、現状を知れる内容の方が良かったかと思いました。
・大学教員として、本学が目指す方向性や研究・教育体系を確認することができた。

・様々な管理システムが整備されている様に感じ、学長のリーダーシップを体現するための体制を運用する教職員の育成が重要と改めて感じました。
・理念・目標についてはよく理解できた。
・学長のお話は素晴らしかったです。本日のお話は、内容もさることながら、プレゼンテーションのお手本として心に刻もうと思いました。
・「教学」について、とても大切な問題に対する取り組みだと思うのですが、
具体的な目的、その方法をとる理由（期待されるアウトカム）がまだ理解できてません。
・その教学の方法自体は、いつか評価されるのでしょうか？〞
・長崎大学が直面する課題や今後の発展の方向性について理解できました。自分自身の教育研究活動・ネットワークはどうのように長崎大学の目標に貢献できるかについても、良い刺激を与えてくれました。
・とても興味深い内容で良かったと思います。
・講習の内容の多さに対して時間が短すぎた気がする。結果としてかなり発表内容が省略されてしまい理解が追いつかない部分があった。
・学長の話は長崎大学が目指す方向がよくわかりませんでした。質問でもでた具体的な方向性のことです。時間は早く終わってよかったです。
・目的別の、少人数制での意見交換会や勉強会などが、別途あると良いと思いました。朝食会も良いと思います。
・ポートフォリオの学生へのコメントの方法や留意点など詳しい話を期待していた。
・学生の指導の際、教える事だけではなく、一人一人を守ることが大事であることを学びました。
・社会に必要となる学生を育成し、社会に貢献出来るよう頑張りたいと思います。
・電子端末の持参を呼びかけていたが、使用する機会がなかった。
・河野学長が長崎大学の目指すべき姿について熱弁を振るわれたところは印象的でした。
・教学マネジメントについては慣れない単語が多く、重要であることは理解できましたが、実際に自らがどのように取り組み、また学生に指導するのかビジョンがつか

めませんでした。一朝一夕で身につくものではないと思っておりますので、今後精進します。
・とても興味深い内容でした。
・坂本キャンパスが主体なので、場所がわかりづらかったです。
・心構えだけじゃなくて、組織の構成とかの方が知りたかった。

Ⅲ．長崎大学 FD としてとりあげるテーマ・内容についてご意見・ご要望をご記入下さい。

・アクティブラーニングについて。
・学域をまたがって話ができるとおもしろいなと思いました。
・もしも可能であれば、学内のキャンパスツアー等実施いただくと、初めて長崎大にこられた方にもよいかなと思います。本日はありがとうございました。
・今後の大学の改革のためにも、他学部との交流、問題点の共通認識、解決方法の検討等、例えば、授業への工夫した各学部の取り組みなど、学部間を超えた学域作りに役立つテーマがあると良いかと思います。
・LACS 活用のワークショップ
・LACS の事例や活用法を具体的に理解する研修
・学内の研究推進組織としての各プラットフォームの紹介
・個人情報やセキュリティ、マネジメントなどに関する説明はとても重要だと思います。大変勉強になりました。
・外部資金の獲得
・科研費書類の書き方セミナーなど。(参加必須ではない形で)
・まだ長崎に来て日が浅いため、その様な FD を対象に、長崎大学の地域に根ざした取り組みについて知る会をして頂きたいです。
・コンテンツに網羅してあるので特にないが、elearning 形式で FD をしてもらえると時間が有効に使える。
・実際長崎大学の授業・システムに対する学生の意見を先生方に伝えるプログラムが必要ではないかと思います。
・LACS の使い方
・研究を行うにあたっての長崎大学で行なっているサポートの内容を詳しく知りたい。
・教学関係についてはぜひ行っていただきたいです。
・昨今は学生の個性を重んじる教育が主流とのことですが、より具体的な指導法などについても学べると良いと思います。
・大学に入るまでの教育方法が変化していると言われていたので、どの様に変化し大学の講義スタイルを変化するための教育があると良いかと思います。
・臨床から教育の場に入り、急に教育に携わる為に学生観が掴めなかったり、教育方

法について学ぶ必要があると思いますので、そのような事が学内で学べる事が理想だと思います。

（２）総　括（１０（１）を踏まえＦＤ全体の総括を記述する）

長崎大学新任教職員ガイダンスが、第 167 回長崎大学 FD として４月３日に実施された。フィードバックの結果からみても、参加者にとって有意義な研修だったといえる。

河野学長は「長崎大学は何を目指すのか」について、「今日とは違う明日の長崎大学を創る」大方針のなかで、「学生の質と多様性の向上」、「長崎らしい研究の促進」、「地方創生に資するまち・ひと・しごとづくり」を目指すこと、そして、「教員の機能分担の実質化」、「職員の専門性の推進」、「ダイバーシティ・マネジメントの推進」、「強固な財政基盤の確立」を図るなかで、「教職員の多様性とやる気を生かす大学」を築いていこうとしていることなどが説明された。その上で、本学の発展のために、教職員のそれぞれが各自の個性や長所をよく自覚して、それらを存分に発揮するよう力説された。

福永理事（総務担当）は、長崎大学の危機管理について説明された。まず、個人情報保護制度について、個人情報の定義を示した上で、個人情報の取得・保有や利用・提供のあり方、本学の管理体制や守秘義務のことなど、本学の業務を行う上で必ず知っておかなければならない基本的知識について説明がなされた。続いて情報セキュリティについて、パスワードや USB の適正管理、ウィルス対策、研修や点検の要請などがなされた。

塚元理事（教学担当）は、アドミッション・カリキュラム・ディプロマの３つのポリシーと、長崎大学の新しい教学マネジメントの狙い（本学独自のコンピテンシー・テストの実施、学修状況報告、学修ポートフォリオ、卒業時総合評価等）について説明された。

河野学長の説明からは、本学の現状・課題および今後の方針など、新任教職員の教育・研究・業務の今後の取り組み方について、大いに参考になったと思う。また、福永理事、塚元理事の説明からは、大学が現在強く求められている情報と教学のマネジメントについて、限られた時間のなかで俯瞰することができた。当日、配布された資料も充実しており、新任教職員に対する良い動機付けになったことは、フィードバックからも伺える。

この長崎大学新任教職員ガイダンスは、毎年、充実した内容で実施されており、今回の内容もまた、新任教職員だけを対象とするのはもったいない FD に思えた。ビデオ収録もされており、随時、学内ウェブ上で、全教職員が接する機会を設けることも可能である。私自身が所属する部局内でも、この FD で接したような情報が共有され、意識付けがきっちりとなされているだろうか。FD を通じての感想は、むしろこのこ

とへの心配であったのかもしれない。

（文責：　首藤明和　）

１１．実施代表者の連絡先

教務委員会委員長　塚元　和弘
e-mail：ktsuka@nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線 2003

１２．申請者の連絡先

学生支援部教育支援課教養教育班
　主査　寺川 美穂
e-mail：fd@ml.nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線 2077